



クイズ・見つけよう

あなたは、友だちと一緒に撮ったこの写真をSNSに投稿しようとしています。でも写真には、トラブルにつながるかもしれない部分があります。見つけましょう。(答えは11面)

ネット発信に落とし穴

スマホの安全な使い方

休校中にインターネットやゲームをする時間が増えた人々もいるのではないだろうか。でも、ネットやオンラインゲームで、悪意のある人と知り合い、犯罪に巻き込まれることが増えています。ネットやスマホを安全に使うための子ども向け教室を全国で開く、京都府警察ネット安心アドバイザーの石川千明さん(53)に、どうすれば被害を防ぐことができるか聞きました。(古市大)

※太い文字は質問、「」の中は答え

簡単に信用しない ゲーム依存に注意

「なぜネットで知らない人と仲良くなってしまうのですか？」
「チームを組んで敵と戦う無料のオンラインゲームが、小中学生の間で流行っています。知らない人でもピンチを助けてもらったりするうちに、頼れるお兄さんお姉さん、恋人のように親密になることがあります。ゲーム中に会話できるので、S

NSでつながったり、実際に会ってしまう人もいます」
「どんな犯罪が起きていますか？」
「課金(お金をはらうこと)が必要なアイテムをあげる約束をして、はだかの写真を送ったり、お金をだまし取る犯罪が起きています。かっこいいアイテムは友だちに自慢できるし、写真も顔が見えてい



ないならいいかと気軽に送ってしまいうようです」
「でも、写真から住所が分かっ、ストーカー(付きまとい)など、もっとひどい被害にあうかもしれない。SNSに投稿した写真で、顔に映った景色などから最寄り駅や自宅を特定され、いたずらをされた人もいました」
「ネットで犯罪以外に気をつけたことはありますか？」
「何日もゲームなどにのめりこみ、正常な社会生活を送れなくなるゲーム障害という病気になる人がいます。学校に行きたくないとき、ゲームやネットの世界に居場所を見つけ、依存してしまうのです」
「保護者やまわりの大人は、どうすべきなのでしょう？」
「まず、家族で話し合って使うときのルールを決めましょう。規約(使うための決まり)で、小中学生の年齢では使えないとしているオンラインゲームやSNSも多いです」
「子どもたちが知らない人ともつながろうとする背景には、寂しい気持ちを抱えていることが多いです。大人は『あなたが大切』『味方だよ』と伝え続けることが大事。忙しくてスマホのやりとりだけでコミュニケーションを済ませてはいけません」
「相談する人がいないという子どもたちは警察の相談窓口(9110)まで電話してください。関西では大阪市立大学医学部付属病院など、ネットやゲームに依存する病気を治療する病院もあります」